

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2006-205067(P2006-205067A)
 【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)
 【年通号数】公開・登録公報2006-031
 【出願番号】特願2005-20872(P2005-20872)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 71/44 (2006.01)
B 0 1 D 69/06 (2006.01)
B 0 1 D 69/08 (2006.01)
B 0 1 D 71/34 (2006.01)
B 0 1 D 71/40 (2006.01)
C 0 2 F 1/44 (2006.01)
C 0 2 F 3/12 (2006.01)

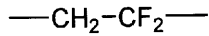
【F I】

B 0 1 D 71/44
 B 0 1 D 69/06
 B 0 1 D 69/08 Z A B
 B 0 1 D 71/34
 B 0 1 D 71/40
 C 0 2 F 1/44 K
 C 0 2 F 3/12 S

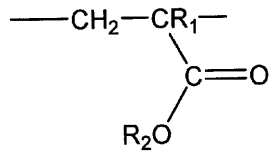
【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

膜構造中に、下記の式 A の分子ユニット、式 B の分子ユニット、及び、式 C の分子ユニットの 3 種を含むことを特徴とする多孔質膜。

【化 1】

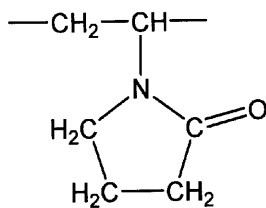


・・・式A



・・・式B

(ここで、 R_1 は水素又はメチル基を表し、 R_2 は炭素を1～8個含有する炭素、水素、酸素、窒素から選ばれる少なくとも2種の原子により構成される化学種を表す。)



・・・式C

【請求項 2】

ポリフッ化ビニリデン系樹脂と、ポリアクリル酸エステル系樹脂および/またはポリメタクリル酸エステル系樹脂と、ポリビニルピロリドン系樹脂を含んでいることを特徴とする請求項 1 に記載の多孔質膜。

【請求項 3】

ポリフッ化ビニリデン系樹脂と、アクリル酸エステル系単量体および/またはメタクリル酸エステル系単量体とビニルピロリドンとを主成分とする共重合体を含んでいることを特徴とする請求項 1 に記載の多孔質膜。

【請求項 4】

有機繊維からなる多孔質基材を有してなる請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項 5】

純水透過係数が $1 \times 10^{-9} \text{ m}^3 / \text{m}^2 \cdot \text{Pa} \cdot \text{s}$ 以上である請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項 6】

$0.10 \mu\text{m}$ 以下の微粒子阻止率が 90 % 以上である請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の多孔質膜を備えた固液分離装置。